

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

施設名	岡山県南部健康づくりセンター
施設所在地	岡山県岡山市北区平田408-1

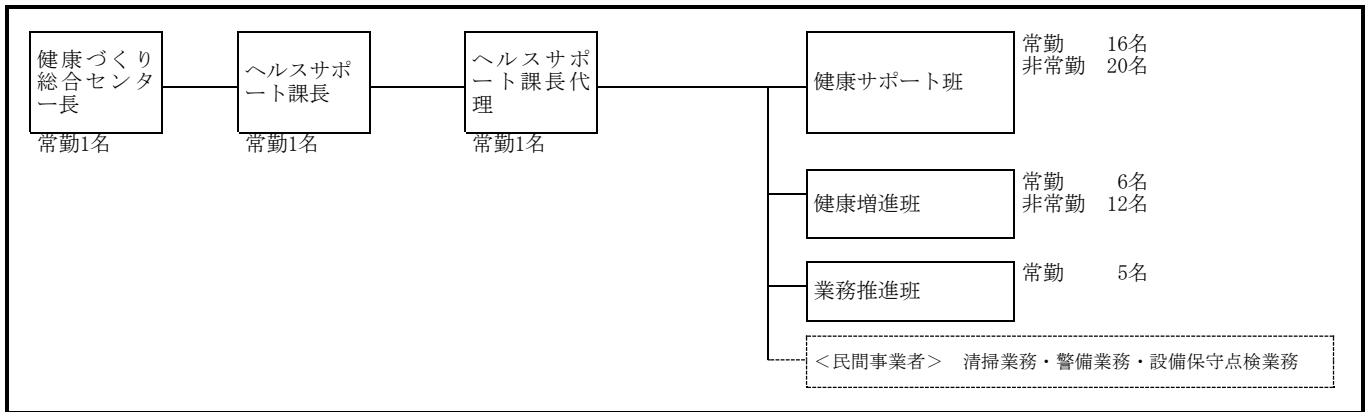
【指定管理者の概要】

名称	公益財団法人 岡山県健康づくり財団	代表者	理事長 松山 正春
所在地	岡山県岡山市北区平田408-1		

【指定管理の概要】

指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	報告期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
管理業務の内容	・岡山県健康づくりセンター条例第2条に規定する業務の実施に関する事 ・センターの施設及び設備の利用等の許可に関する事 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する事		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		ヘルスチェック	施設自由利用	施設貸出	その他健康増進活動	人間ドック等	合 計
許可 件 数	7年度	604	9,065	59	1,771	11,833	23,332
	6年度	606	8,960	75	1,521	11,726	22,888
	増減	△2	105	△16	250	107	444

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設の維持管理業務	・建物保守管理業務 ・設備保守管理業務 ・施設清掃業務 ・植栽管理業務 ・警備業務
施設等利用許可業務	・許可件数：23,332件〔内訳〕ヘルスチェック（604件）施設自由利用（9,065件）施設貸出（59件）その他健康増進活動（1,771件）人間ドック（10,622件）婦人科検診等（98件）機器開放（1,113件）
自主企画事業	・年長児から小学6年生を対象として定期的にかけっこ教室を100回開催 ・難病相談・支援センターの患者交流会に管理栄養士、運動指導員を派遣して講演を3回実施

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	ヘルスチェック	施設自由利用	施設貸出	その他健康増進活動	人間ドック等	合 計
収 入 額	541,610	56,999,160	2,108,480	4,333,760	325,016,246	388,999,256
利用件数	604	84,953	59	1,771	11,833	99,220
減 免 額	2,531,740	2,464,750	1,758,510	17,690	11,474,850	18,247,540
減免理由	障害者の施設利用、健康づくりセンターとの共同研究利用等					

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		7 年度	対前年度増減額	6 年度	備 考
収 入 額 A		496,853,558	16,715,365	480,138,193	7 年度収入額 ・ 指定管理料のうち賃金及び物価の 上昇に応じた増額 分 13,186,000円 (財源は全額国庫)
内 訳	指定管理料	106,076,000	9,025,417	97,050,583	
	利用料金収入	388,999,256	9,559,638	379,439,618	
	事業収入	108,302	39,490	68,812	
	その他	1,670,000	△1,909,180	3,579,180	
支 出 額 B		496,853,558	16,715,365	480,138,193	その他の主なもの ・ 積立金取崩収入 1,670,000円 7 年度支出額 その他の主なもの ・ 消費税 45,002,123円
内 訳	人件費	228,919,989	19,133,763	209,786,226	
	管理運営費	104,245,743	7,870,625	96,375,118	
	事業費	83,180,958	△6,059,208	89,240,166	
	その他	80,506,868	△4,229,815	84,736,683	
収 支 額 A－B		0	0	0	
県への納入金		—	—	—	
実質的な県負担額		92,890,000	2,155,417	90,734,583	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営状況	①適切な施設管理の履行	B	適切な施設管理が行われていた。
	②法令等の遵守状況	B	法令等について遵守されていた。
	③安全性の確保	B	A E D 及び外科的処置についての研修を行うなど、利用者の安全性を確保した管理が行われていた。
	④財産の適切な管理	B	適切な財産管理が行われていた。
導入効果	① 利用状況	B	健康増進施設の利用件数は前年度より増加した。 【利用件数】 R7：99,220件 ← R6：97,202件
	② 収支状況	B	収入は、利用料金収入、指定管理料、事業収入が増加し、前年度より増加した。支出は、事業費、その他が減少したものの、人件費、管理運営費の増加により、前年度より増加した。収支額は、前年度同額となった。
	③ サービス向上	B	健康フェスタの開催やお手軽教室の見直しなどを行った。また、人間ドックでは、胃カメラ検査の受診枠を拡大するとともに、オプション検査に新たなメニューを追加した。
管理運営業務全般		B	適切に管理運営業務が実施されるとともに、利用は前年度より増加した。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。 B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。